

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】平成 17 年 7 月 21 日 (2005.7.21)

【公表番号】特表 2004-508613(P2004-508613A)  
【公表日】平成 16 年 3 月 18 日 (2004.3.18)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-011  
【出願番号】特願 2001-588198(P2001-588198)  
【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 13/00

G 0 6 F 12/00

【F I】

G 0 6 F 13/00 5 4 0 B

G 0 6 F 12/00 5 4 6 L

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 22 日 (2003.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための方法であって、

始動事象を待機するステップと、

第一のオリジンサーバは、前記コンテンツ記憶部にコンテンツを記憶する権限を与えられているか否かを判定するステップと、

第一のコンテンツオブジェクトを要求することなく、前記第一のオリジンサーバから前記コンテンツ記憶部に前記第一のコンテンツオブジェクトをロードするステップと、

第二のオリジンサーバは、前記コンテンツ記憶部にコンテンツを記憶する権限を与えられているか否かを判定するステップと、

第二のコンテンツオブジェクトを要求することなく、前記第二のオリジンサーバから前記コンテンツ記憶部に前記第二のコンテンツオブジェクトをロードするステップとからなる方法。

【請求項 2】

前記コンテンツオブジェクトの人気を判定するステップをさらに有する、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 2 つのロードステップの実行が前記待機ステップによって規定される、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記待機ステップは、

前記第一のオリジンサーバと前記コンテンツ記憶部との間の上りバンド幅が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップと、

前記第二のオリジンサーバと前記コンテンツ記憶部との間の上りバンド幅が前記所定のしきい値よりも低下することを待機するステップのうちの少なくとも 1 つからなる、ネッ

トワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記待機ステップは、前記コンテンツ記憶部への上りバンド幅が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記待機ステップは前記ネットワークへの接続を待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記待機ステップは、クライアントコンピュータから前記コンテンツ記憶部への上りバンド幅の利用度が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記待機ステップは一時的な事象を待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための方法であって、

始動事象を待機するステップと、

前記コンテンツオブジェクトの人気を判定するステップと、

第一のコンテンツオブジェクトを要求することなく、前記第一のオリジンサーバから前記コンテンツ記憶部に前記第一のコンテンツオブジェクトをロードするステップと、

第二のコンテンツオブジェクトを要求することなく、前記第二のオリジンサーバから前記コンテンツ記憶部に前記第二のコンテンツオブジェクトをロードするステップとからなる方法。

【請求項 10】

前記 2 つのロードステップの実行が前記待機ステップによって規定される、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

第一のオリジンサーバは、前記コンテンツ記憶部にコンテンツを記憶する権限を与えられているか否かを判定するステップと、

第二のオリジンサーバは、前記コンテンツ記憶部にコンテンツを記憶する権限を与えられているか否かを判定するステップとをさらに有する、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

前記待機ステップは、

前記第一のオリジンサーバと前記コンテンツ記憶部との間の上りバンド幅が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップと、

前記第二のオリジンサーバと前記コンテンツ記憶部との間の上りバンド幅が前記所定のしきい値よりも低下することを待機するステップのうちの少なくとも 1 つからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

前記待機ステップは、前記コンテンツ記憶部への上りバンド幅が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 14】**

前記待機ステップは前記ネットワークへの接続を待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 15】**

前記待機ステップは、クライアントコンピュータから前記コンテンツ記憶部への上りバンド幅の利用度が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 16】**

前記待機ステップは一時的な事象を待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 9 に記載の方法。

**【請求項 17】**

ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための方法であって、

始動事象を待機するステップと、

第一の複数のコンテンツオブジェクトのいずれに対する要求がなくても、前記第一のオリジンサーバから前記コンテンツ記憶部に前記第一の複数のコンテンツオブジェクトをロードするステップと、

第二の複数のコンテンツオブジェクトに対する要求がなくても、前記第二のオリジンサーバから前記コンテンツ記憶部に前記第二の複数のコンテンツオブジェクトをロードするステップとからなり、

前記 2 つのロードステップの実行が前記待機ステップによって規定される方法。

**【請求項 18】**

前記コンテンツオブジェクトの人気を判定するステップをさらに有する、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 17 に記載の方法。

**【請求項 19】**

第一のオリジンサーバは、前記コンテンツ記憶部にコンテンツを記憶する権限を与えられているか否かを判定するステップと、

第二のオリジンサーバは、前記コンテンツ記憶部にコンテンツを記憶する権限を与えられているか否かを判定するステップとをさらに有する、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 17 に記載の方法。

**【請求項 20】**

前記待機ステップは、

前記第一のオリジンサーバと前記コンテンツ記憶部との間の上りバンド幅が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップと、

前記第二のオリジンサーバと前記コンテンツ記憶部との間の上りバンド幅が前記所定のしきい値よりも低下することを待機するステップのうちの少なくとも 1 つからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 17 に記載の方法。

**【請求項 21】**

前記待機ステップは、前記コンテンツ記憶部への上りバンド幅が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 17 に記載の方法。

**【請求項 22】**

前記待機ステップは前記ネットワークへの接続を待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 17 に記載の方法。

**【請求項 23】**

前記待機ステップは、クライアントコンピュータから前記コンテンツ記憶部への上りバンド幅の利用度が所定のしきい値よりも低下することを待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記待機ステップは一時的な事象を待機するステップからなる、ネットワークにおいてコンテンツ記憶部にコンテンツオブジェクトをロードするための請求項 1 7 に記載の方法。